

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】いちき串木野市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
18	2007.3.29			鹿児島県	いちき串木野市	32,993	112.02
構想の要約		農畜産業や林業・製材業及び酒造会社から排出されるバイオマス資源を堆肥や飼料及びエネルギーなどに変換する資源循環型の地域づくりを推進する。					
構想に盛り込まれた事業		①メタン発酵施設の整備 ②木製品製造施設の整備 ③BDF化の施設整備					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス						
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス			資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物		
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部				
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○			
廃食用油	○	果樹剪定枝				
水産加工残さ		竹材				
製材工場等残材	○	その他()				
建設発生木材	○					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草						
古紙・廃棄紙						
下水汚泥など	○					
その他()						

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他()		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	○
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成18年度、西薩クリーンサンセット事業協同組合、焼酎粕飼料化施設、メタン発酵施設等の整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

(1) 利活用目標

① 廃棄物系バイオマス

いちき串木野市における廃棄物系バイオマスの賦存量は160,241t/年、炭素量換算で8,568t-c/年あると想定される。利用率95%以上を目標とする。

- 家畜排せつ物・・・97%利用
- 木質系廃棄物・・・95%以上利用(主に堆肥、法面基材の原料)
- 下水汚泥・し尿汚泥・・・100%利用
- 食品廃棄物・・・70%以上
- 廃食用油・・・50%以上
- 焼酎粕・・・100%利用

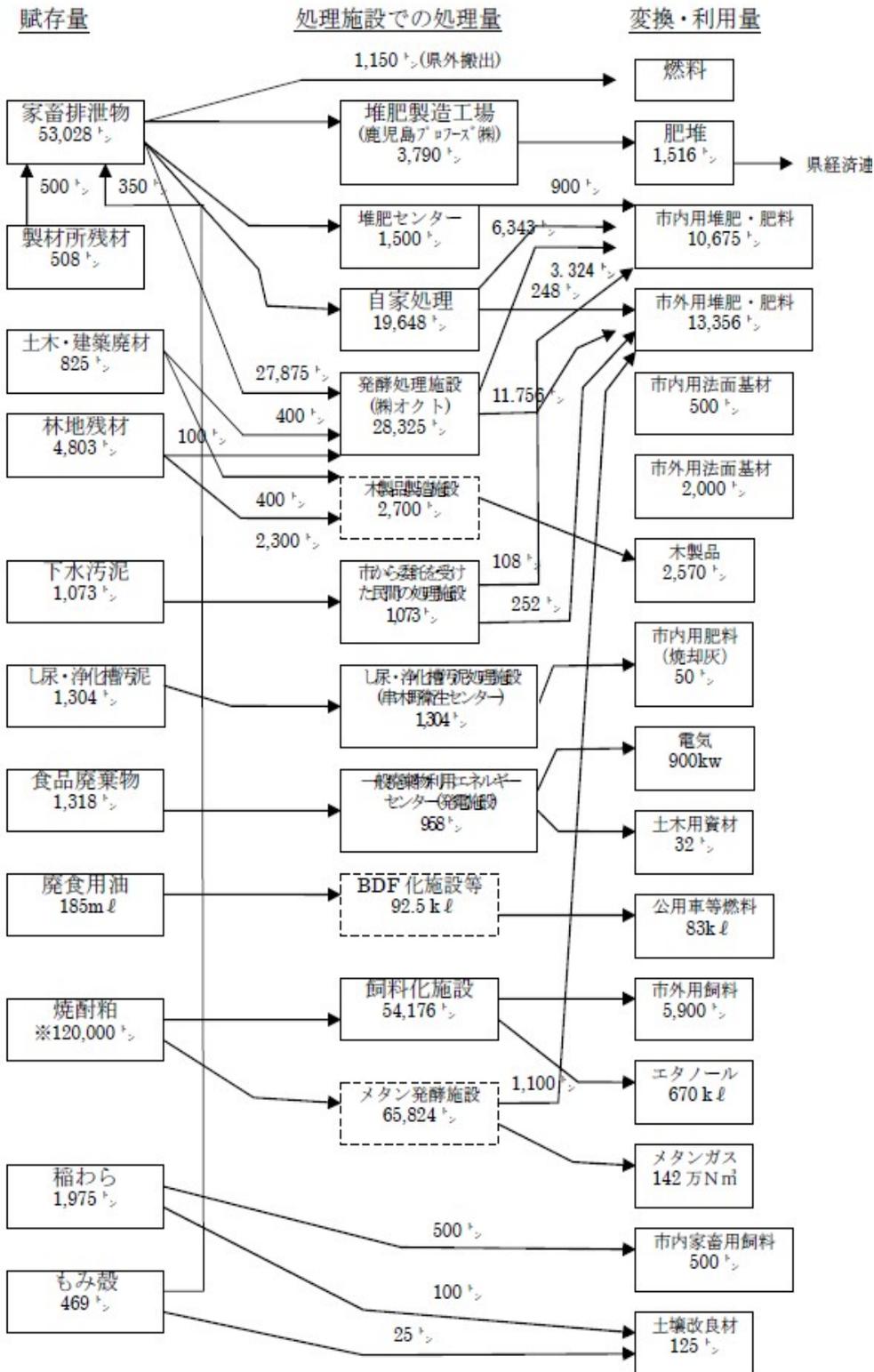
② 未利用バイオマス

未利用バイオマスの賦存量は7,247t/年、炭素量換算で1,770t-c/年あると想定される。利用率40%以上を目標とする。

- 稲わら・・・30%以上利用(主に飼料)
- もみ殻・・・75%以上利用(主に畜産敷料)
- 林地残材・・・誘致企業により、間伐材をフレーク化しそれを木製品の原材料として利用することで50%以上利用

バイオスタウン構想概要図
(バイオスタウン構想書からコピー)

いちき串木野市のバイオマスの利活用



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)